

「月刊伝勇伝」とは
描き下ろしイラストや、ここでしか見られない最新情報などを
毎月お届けする伝勇伝オリジナルマガジン!
毎月お楽しみに!

先行上映会決定!!

みなさんお待ちかね、TVアニメ『伝勇伝』の第1話先行上映会が決定しました! メールマガジン会員限定イベントとなりますので早速メールマガジンに登録しちゃおう! 当日は福山さん、高垣さん、小野さんが登場します!

PV解禁!

TAFで公開されたPVを、TVアニメ『伝勇伝』の公式サイトで見られるようになりました。動くライナやフェリスを要チェック!



WEBラジオ配信決定!

ランティスネットラジオとインターネットラジオステーション<音泉>にて、5月より配信開始予定!! 詳細は『伝勇伝』公式サイトでご確認ください。
出演:福山潤・高垣彩陽・小野大輔

TVアニメ『伝説の勇者の伝説』公式サイト <http://www.denyuden.jp/>

STAFF 監督:川崎逸朗(『戦国BASARA』『鋼殻のレギオス』等)
シリーズ構成:吉村清子(『鉄のラインバレル』)
キャラクターデザイン:島沢ノリコ(『D.C.II ～ダ・カーボII～』『乙女はお姉さまに恋してる』)
アニメーション制作:ZEXCS(『鋼殻のレギオス』『うみものがたり』等)

CAST ライナ・リュート:福山潤／フェリス・エリス:高垣彩陽／シオン・アスター:小野大輔

月刊『伝説の勇者の伝説』第1号
平成22年4月24日発行 毎月1回
発行所:伝勇伝製作委員会
イラスト:島沢ノリコ
編集:山崎香弥(ユークラフト)
デザイン:高木信義
©2010 鏡貴也 / 伝勇伝製作委員会
※本誌掲載の記事の無断転載を禁じます。

編集後記
宣伝の梅巻子と申します。『伝勇伝』が遂に始動!
この会報は毎月全国のアニメイトさんに配布されますので、是非コンプリートしてくださいね。枚数に限りがございますので、配布時期などは『伝勇伝』公式サイトでチェックしてください。
今後も豪華な声優さんなどの独占インタビューをどんどん予定していますのでどうぞよろしくお願いします!

伝勇伝オリジナルマガジン

伝説の勇者の伝説

The Legend of the Legendary Heroes

前刊 第1号

みんなが笑って、
昼寝だけしていれば
いいような世界へ…

① 第1話のアフレコ直後に突撃!
福山潤×小野大輔が『伝勇伝』を語る!

② 「伝勇伝」とはどんな物語なのか……
こんなにやる気のない主人公は見たことない!

③ 物語を彩る魅力的なキャラクターを紹介!
貴重なカラー設定画も大公開!!

ライナ・リュート役 福山潤

シオン・アスター役 小野大輔

2010年初夏
TVアニメ放送予定!!

FREE



Introduction

—作品紹介—

相反する二人が会った。

呪われた者として忌み嫌われ、生きる意味を見失っている『複写眼』保持者、ライナ・リュート。

王家の血を引きながら、母が平民であるがゆえに蔑まれてきた、シオン・アスター。

二人は出会い、そしてこの腐った国を変えたいと、望んだ。

そして革命の末、ローランド帝国王に即位したシオンは、ライナに彼が獄中で書いたレポートを元に、その鍵となる『勇者の遺物』探しを命じ、剣の一族であるエリス家の娘、フェリス・エリスをお目付け役として同行させる。

超絶面倒くさがりで万年無気力のライナと、超絶美人で傍若無人なだんご至上主義のフェリス、どこから見ても相性の悪い二人だが、各国を跨いで『勇者の遺物』を捜す旅の中で次第にお互いを無二の相棒として認め合っていく。

ローランド帝国で二人の動向を見守るシオンもまた、いまだ残る貴族との内部確執、そして他国との争いの予感に王として苦悩しつつも奮闘していく。

だが徐々に、二人の思いはすれ違っていく。

ライナたちがかつて夢見た『みんなが笑って、昼寝だけしていればいいような世界』を作ることができるのだろうか……？

新感覚アンチ・ヒロイック・ファンタジー開幕——。

福山潤 × 小野大輔 対談

Jun Fukuyama Daisuke Ono

TVアニメ『伝説の勇者の伝説』のアフレコ現場に潜入！ 第1話のアフレコを終えたばかりの、ライナ役・福山潤さんと、シオン役・小野大輔さんに突撃取材を行いました！

—第1話のアフレコの感想を教えてください。

福山：僕と小野D(小野大輔さん)と高垣(フェリス役・高垣彩陽さん)は、このアフレコの前にPVを録ったんですが、ほかのメンバーは初参加なんですね。なのに、すごくテンポ良く収録できましたなど感じました。自分たちの演技も、気持ちよく出せましたしね。

小野：じゅんじゅん(福山潤さん)の言う通りです。

福山：お前ズライ！(笑)

小野：あはは。でも、本当にもうチームができあがってる感じがして、とても素敵だと思いました。この作品は、登場人物の一人一人が大きいものを背負って生きているという部分が非常に重要なんですね。だから第1話の時点で、みんながそれを理解していたから、収録がスムーズだったのかなと思いました。あと、「現場が若いな……！」というのは感じました(笑)。もちろんベテランの方いらっしゃいますが、全体的に見るととても若い。

—それぞれの役を演じてみて、いかがでしたか？

福山：ずっと原作を読んでいて、これから先の話を知っているからこそ、ライナ役のオーディションを受けることになったとき、「難しい役だな」と思いました。自分の中にはっきりとした「ライナ」のイメージがあったので、自分の体を通してとき、どのように演じられるのだろうと。自分が今まで演じたキャラクターの中で、トップクラスに入るくらいハードルが高い役ですね。

原作では最初、ライナよりもシオンの方がヒーロー然としていて、まるで太陽みたいなイメージだったんです。ライナはその影となって動くという感じだったので、「じゃあその対比を、小野Dとならどうやって創れるだろうか」と考えていました。

小野：僕はじゅんじゅんと違い、オーディションを受ける段階で『伝勇伝』を読んだのですが、「わおっ、これはマジイぞ」とビビってました(笑)。さっき「背負ってる」という話をしたんですけど、実は、そういうキャラクターに声を当てるというのは、ともだち大変なことなんです。一言一言、すべてに意味があるので。しかも、シオンはその「意味がある言葉」に、あまり意味を込めないで言ったりするんです。感情を出すぎると自分がツラくなるから、あえて抑える。本当にハードルの高さを感じた役ですね。

福山：にも関わらず、監督がさらにハードルを高くしていく(笑)。

小野：「すごく大変な作品です。2クール、とても大変だとは思うんですけど、みんなならできると思って選びました」的なことを言うんですよ！ 口元は笑いながらね！ ハードルが高いのをわかってて、「みなさんならできます」って言うのがもう！

福山：あはは。でも、原作ファンの方の期待値が高いものも重々わかっているので、そういうことも受け止めながら、アニメならではの面白さを追求したり提示したり、僕らのやりたいことをやるというバランスを保つっていうのは、おもしろいことなんですね。だから、監督に対して「見てろよ！」と思っています(笑)。

小野：僕もそう思います。じゅんじゅんとは運命共同体だと思うので、そう言っておきます(笑)。

—では、第1話の見どころを教えてください。

福山：もちろんキャラクターを見せたり、さまざまなピースを散りばめたりしていますけど、「伝説を求める旅はもう始まっている」というのが、見どころのひとつだと思いますね。

小野：「始まり」らしい始まり方だなと思いました。そして、これから起こること

Characters

—登場人物紹介—



フェリス・エリス

金髪青眼の類い希なる美貌の持ち主だが、性格は傍若無人でだんご命。代々、ローランド帝国王の護衛を務める『剣の一族』エリス家の娘であり、剣技・体術ともに桁外れの強さを誇る。現在はライナと『勇者の遺物』探索の旅を続けている。

and more...

な～。うだなあ……。この作品は、役者としてのハードルの高さを感じつつも、ファンとしてこの作品に関わることがとても嬉しかったんです。だから、すごくテンションが上がってます。ですが、この気持ちをそのままぶつけられる役ではないんですね。そういう風に、役者ががもいて苦しんで、苦労して作った作品というのは、絶対に良い作品になるんです。なので、まだ知らない方は、騙されたと思って、この予感に同調してください。裏切りません！



福山潤 ふくやま・じゅん

【所属】ぶろだくしょんバオバブ
【主な出演作】狼と香辛料(クラフト・ロレンス)、咲-Saki-(須賀京太郎)など多数

小野大輔 おの・だいすけ

【所属】マウスプロモーション
【主な出演作】涼宮ハルヒの憂鬱(古泉一樹)、うみねこのなく頃に(右代宮戦)など多数